

2022年度事業計画書

一般社団法人MFISEA

内容

事業目的	2
事業内容	2
1.親子のための大分の海3か所を学ぶツアー	2
2.離島での清掃活動	2
3.深海における海洋問題の講演会	2
補足：離島での清掃活動について 課題認識及び活動の方向性	2
収支予算	4

事業目的

(背景・社会課題)

海洋環境の破壊や水産資源の乱獲により世界的に魚の数は減少し、海洋環境は悪化し続けています。また、魚食文化は日本だけでなく世界中に広まり、日本を中心に食されていた魚料理もいまでは世界中の人が好んで食べることが当たり前となりました。海洋資源は減少し、需要は増加していくという状態が継続的に続けば、近い将来、魚がこの世界から絶滅に至る可能性もあります。

(実現したいこと)

そのために、Mfiseaは、「豊かな海を未来に」を理念に活動をしております。海を愛する心を育むための活動等を推進しています。まずは海のことを好きになってもらい、海洋問題を自分ごとにする事。それによって活動に関わった一人ひとりが海を守る一人になることを願って活動しております。

事業内容

1.親子のための大分の海3か所を学ぶツアー

(1)時期:2022年6月～8月(2回)

(2)場所:大分県(大分市、別府市、佐賀関市)

(3)参加者:20名(親子 各回10名)

(4)内容:魚釣りやクイズ式の講義を通じて海への愛情を育むとともに、海流や生息している魚のうつりかわりや、現状の海の抱えている問題(漁獲高の変化やマイクロプラスチック問題など)を学ぶ

2.離島での清掃活動

(1)時期:2021年5月～10月(3回)

(2)場所:対馬、壱岐など長崎県及び大分県内のビーチ

(3)参加者:150名(親子 各回50名)

(4)内容:離島での清掃活動を通じて海洋ごみの問題を学ぶ

3.深海における海洋問題の講演会

(1)時期:2021年5月(1回)

(2)場所:大分県別府市

(3)参加者:30名(小学生を中心とした親子が対象)

(4)内容: JAMSTEC | 海洋研究開発機構の講師による深海でいま起きている海洋ごみの問題を学ぶ。

補足: 離島での清掃活動について 課題認識及び活動の方向性

【課題認識】

- ・五島列島、壱岐、対馬列島は、対馬海流の影響で漂着(漂流)ゴミの問題が年々増加
- ・韓国、台湾、中国製とみられるプラスチック、発砲スチロール、ペット・ボトル、ポリ容器等が、対馬・壱岐・五島列島地域をはじめ、日本海に面した広範囲な地域に漂着している
- ・対馬海流の影響や、特に北西の季節風が吹きつける冬場に大量に漂着するようになっていく
- ・五島列島、壱岐、対馬列島は豊富な漁場としても知られており、釣り人にとっての聖地でもある。海洋生物の中には、人工のごみとエサの区別ができずに、間違えてプラスチックを飲み込んでしまうものもある。こうした誤飲・誤食を繰り返す個体は、ごみが、胃などの消化器にたまり続け、エサを食べることができなくなり、死んでしまう場合もある。マイクロプラスチックを食べ続けた魚を人が食べた場合に、生物濃縮された魚であれば、余計に発がん性の原因にもなりえるし、良いことはない

【活動の方向性】

・簡単に片づけられる話ではなく、漂流ゴミを簡単にはなくすことはできない。ただ、良い多くの人に課題認識をもってもらおうということは、本当に重要なことにつながる。特に過疎化が進んでいる島民だけでこの問題を解決することはできず、特に島民以外からの参加をより増やすこと、親子付けや学生を巻き込んだ仕掛けづくりが重要であると考えている。

・Mfiseaとしては、この島を守りたい、この美しい日本の海を守りたい、豊かな海を未来に、という気持ちをより多くの人に感じてもらうために、各離島の名所や美しい風景を撮影・発信するとともに、汚れた現状を発信することでより多くの人に課題認識をもってもらうことをゴールとする。

・定期的な離島でのビーチクリーン（ボランティア活動）の実施

⇒SNSで発信

⇒大手メディアとの連携

収支予算

2022年度収支予算書

科目	予算額 (A)
I 経常収益	
1. 受取会費	
正会員受取会費	60,000
賛助会員受取会費	250,000
2. 受取寄付金受取寄付金	
受取寄付金	200,000
3. 受取助成金等	
受取助成金	2,930,000
受取補助金	300,000
経常収益計	3,740,000
II 経常費用	
1. 事業費	
(1) 人件費	
役員報酬	0
給料手当	0
法定福利費	0
福利厚生費	0
人件費計	0
(2) その他経費	
委託費	1,440,000
消耗備品費	355,000
印刷製本費	0
旅費交通費	1,153,520
会議費	135,000
広告宣伝費	0
諸謝金費	50,000
その他経費計	3,133,520
事業費計	3,133,520

2. 管理費	
(1) 人件費	
役員報酬	0
給料手当	180,000
法定福利費	0
福利厚生費	0
人件費計	180,000
(2) その他経費	
会議費	100,000
委託費	45,000
旅費交通費	0
支払手数料	0
支払保険料	0
消耗備品費	70,000
印刷製本費	100,000
広告宣伝費	30,000
通信費	10,000
その他経費計	355,000
管理費計	535,000
経常費用計	3,668,520
当期計上増減額	71,480
III 経常外収益計	
1. 事固業定費資産売却益	0
経常外収益計	0
IV 経常外費用	
1. 事過業年費度損益修正損	0
経常外費用計	0
税引前当期正味財産増減額	71,480
法人税、住民税及び事業税	70,000
当期正味財産増減額	1,480
前期繰越正味財産額	0
次期繰越正味財産額	0